

2022 春闘期の要請行動を展開！



3月10日（木）秋田県へ2022春季生活闘争に関わる要請行動を行った。「みんなの春闘」の位置づけのもと「底上げ」「底支え」「格差是正」等、処遇改善の取り組みを加速させるとともに、運動の両輪として「政策・制度実現」の取り組みを推進しており、要請では、賃金をはじめとする処遇の改善や女性や若者にとって魅力ある職場の創出、すべての労働者の立場にたった働き方改革の実現、ジェンダー平等・多様性の推進、就職差別の撤廃に向けた取り組み、学校における働き方改革など、5項目36点の要請を行い、4月末までの回答を求めた。

佐竹県知事からは「賃金水準の向上は、県政運営の大きな柱である。連合秋田と目指す方向性は、これまでで最も合致するものだ。」と要請に対する見解を得、その後、要請について更に具体的な意見交換を行った。

また、3月11日（金）秋田県経済5団体（秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、秋田経済同友会、秋田県経営者協会）へ6項目29点、3月16日（水）秋田労働局へ4項目35点の要請を行い、春季生活闘争期の政策要請への対応を求めた。



【秋田県経済5団体のみなさんと意見交換】



【秋田労働局・川口局長へ要請書を手交】